

「なよろ温泉サンピラー等研修施設改修基本設計（案）」に対する市民説明会の実施結果について

「なよろ温泉サンピラー等研修施設改修基本設計（案）」に対して、市民説明会を開催した結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。市民説明会に参加いただきありがとうございました。

寄せられたご意見について参考にさせていただき、実施設計を進めてまいります。

1. 市民説明会の実施結果

案件名	なよろ温泉サンピラー等研修施設改修基本設計（案）
日 時	平成 31 年 2 月 19 日(火)①14 時 00 分～15 時 10 分 ②18 時 30 分～19 時 10 分
場 所	駅前交流プラザ「よろーな」大会議室
参加者	①9 名 ②5 名
説明者	名寄市経済部 白田経済部長、田畑営業戦略課長、室営業戦略課主幹 名寄市建設水道部 中野建築課長、開発建築課主幹、大内建築課技師 柴滝建築設計事務所 竹間設計部長
結果の公表方法	市ホームページ
意見等の提出者数・提出件数	意見者 4 人 件数 15 件

2. 意見の概要と市の考え方について

	市民等の質問・意見の概要	意見に対する名寄市の回答
	<b>温浴施設関係</b>	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人的にも期待していた施設。5 P 資料 2-1 の 1B 案のサウナ増築の場合、河川敷地との関係はどのようなになっているのか。</li> <li>過去には大雨で川が氾濫した。災害対応も含めての設計となっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該敷地については、国有地を借り受けており、現地を確認した上で河川に係る災害にも対応できる設計となっています。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 P 資料 2-1 の 1B 案のサウナ増築の場合、護岸工事なども考えているのか。風呂に泥水が入り数日休業したこともある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>護岸改修までは考えておりませんが、過去の泥水の件は把握しており、当時、その対応として新たな水槽を設置しているため、泥水が入り込むことはないと考えています。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人的にはサウナ箇所増築の 5 P 資料 2-1 の 1B 案の方が良い。1A 案に比べ改修費用は 3,000 万円程度高くなるが、今後、長く使用する施設と考えると、高いものではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見として参考にさせていただきます。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 P 資料 2-1 の 1B 案のサウナ増築案の方が良いがトイレの位置が 9 P 資料 2-5 バリアフリー検討資料の図面との整合性がないのではないかと。1B 案とならなかった場合には改修しないということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9 P の資料は現状の図面です。5 P 資料 2-1 はユニットバスなどを設置の場合は、新たな熱源が必要となり機械室の設置が必要となります。その場合、トイレを移設する必要があります。機械室については熱量など詳細は検討しておら</li> </ul>

	5 P-1 B 案の場合のトイレの位置は機械室側が良いと思う。ソファで休んでいる人の前を通らなくても良い。	ず、機械室のスペースなどにより、トイレの設置場所も決めることします。
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 P 資料 2-1、温浴施設改修について、1 A 案、1 B 案共に水風呂の位置が良くない。また、一般浴槽の利用が少なく、温泉浴槽は数人入ると狭くなる。5 P-1 B 案は入浴前後に体を流すシャワーの設置が必要と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>温浴施設の改修については、両案ともサウナ室の拡張、洗い場の数を増やしています。1 B 案については入浴前後に使用するシャワーは設けていません。最低限の機能を確保することを検討し、今回の意見を参考に実施設計を進めます。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事も含め温泉を楽しんでいる人を多く見かける。5 P 資料 2-1 温泉浴槽の拡張の検討はされたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉浴槽については、温泉湯量に制限があり、現在の浴槽と同等規模と考えています。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキー場と共に温泉も利用している。5 P 資料 2-1 温泉については 1 B（サウナ増築案）が良い。サウナも現状では 3～4 人利用していれば入れない状況。温泉を利用した後にくつろげるスペースは必要。バスを待つ間などホテル 1 階ロビーではなく、地下の休憩室を利用している人が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見として参考にさせていただきます。</li> </ul>
客室ユニットバス、ユニットシャワー、地下シャワールーム関係		
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 P 資料 2-1 の 1 A・B 案の図面には、6 P 資料 2-2 の 2 A のシャワー室が反映されていない。行政側として 2 B 1（ユニットバスの設置）または 2 B 2（シャワーユニットの設置）の案で決定しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 P の改修案はユニットバス・シャワーの際に機械室を設けたパターンを例示したものです。6 P に示している 2 B 1（客室へのユニットバス）、2 B 2（客室へのシャワーユニット）または 2 A（地下へのシャワー室）について、市民、議会などの意見、特定財源と併せて検討します。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>6 P 資料 2-2 の 2 A 案（新館地下をシャワー室に改修）は合宿を想定しているのであれば意味がないと考える。合宿繁忙期には 6 箇所のシャワー室では対応できないのではないかと。合宿利用の多い本館へのユニットバス設置も必要と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本館は合宿を中心として利用されています。合宿繁忙期には満室状態となり、ユニットバス設置により客室が狭くなると思われることから、現在は客室・定員を維持したいと考えています。また、本館は建築年次が古く、大きな構造変更を想定した改修を検討していません。</li> </ul>
本館_食堂_キッズコーナー関係		
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 P キッズコーナーについて、子供がスキー学校などへ通っている保護者がロッジを利用している。約 2 時間の利用であり、スキー学校は週末行われているため、スキーロッジが狭いと言われている中で、キッズコーナーをロッジに設置する意味はあるのか。平日は殆ど利用されないと考える。キッズコーナーにつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キッズコーナーについては、保護者の待機場所や幼児が靴を脱いで遊べるスペースとして検討しています。週末利用が多い点については認識しておりますが、スキー場の立地を考えると送迎で 30 分以上かかることから、キッズコーナーの設置は必要と考えています。設置場所についてはゲレンデが見える場所などを考慮し、運営者とも協議の上、スキーロッジでの</li> </ul>

	<p>いては、レストセンターへの設置の方が良いのではないか。窓際で子どものスキーが滑っている姿をみたいのはわかるが、見えるのは下に降りてくる一時だけである。</p>	<p>設置で検討を進めてきました。平日については利用状況に応じて対応を検討します。スキーロッジが狭いという意見もありますが、テーブルの上に荷物を置いたままゲレンデへ出てしまう人もおり、改修時には適正な数の棚を設置するとともに、荷物の放置などないようにルールを守っていただけるよう注意喚起します。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>7Pのキッズコーナーについて冬季の利用を想定していると思うが、温浴・レストランなどを利用する子どもに開放して通年で利用することは考えていないのか。冬季だけの利用であればキッズコーナーは不要と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本館1階については、冬季はスキーロッジとして使用していますが、夏季は合宿繁忙期の7月下旬から8月中旬に、合宿利用者が食事会場として利用しています。施設の有効活用を考え、通年での利用について協議してきました。管理上、従業員の配置など必要性があることから、運営者側とも協議の上、検討いたします。</li> </ul>
レストセンター改修関係		
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>8Pレストセンターに更衣室・授乳室を設置するのであれば、キッズコーナーもレストセンターが良いのではないかと。保護者は一旦座ると動かない。場所が専有されてしまうと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで授乳室の設置がなく、希望者は浴場の脱衣所を利用していました。キッズコーナーと授乳室との位置関係を考えると、レストセンターの方が良いという考え方もあるため、意見として参考にさせていただきます。小さな子供のスキーには保護者の送迎が伴います。自宅へ戻る時間より、キッズコーナーを設置することにより時間を有効に活用することができ、施設の良さを体験いただけると考えています。場所の専有については、保護者のみならずスキー場を利用する皆さんにご協力いただき、安心・安全で楽しめる、子供にやさしいスキー場を目指します。</li> </ul>
バリアフリー関係		
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>9P資料2-5の浴槽について「浴槽の端部を床から立上げます」と記載があるが、バリアフリーの考え方に逆行しているのではないかと。トイレについては手摺の設置、洋式化としているが、介助者が伴う車いすの方が利用できるよう対応されているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浴槽については、現在、階段で降りる浴槽となっておりますが、改修案では一旦、腰かけてから入浴する仕様を想定しています。介助者を伴う車いすの方は想定しておらず、自活できる方の利用と考えています。新館1階に多目的トイレがありますが、その他のトイレについては、通常のサイズで手すりなど設置を予定しています。</li> </ul>
その他		
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピヤシリスキー場を利用している。キッズコーナーの設置は良いと思う。スキーロッジについて、売店の場所（スキーロッジ地下）がわかりにくい。日頃から利用する人にとっては場所が分かっているから良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、スキー売店・券売所が一体となっており、リフト券は通常外で買うこととなりますが、券売所までが傾斜となっており、スキー靴などで滑る可能性もあり、その対応については検討しています。売店については課題として認識してはいたものの</li> </ul>

	<p>が、初めての利用者や市外の人にはわからない。菓子類の他にグローブやゴーグル等を販売しているが、手に取って選ぶ事ができない。また、レンタルスキーも券売所の奥にあるが、目に留まる場所に設置することにより利用者は増えるのではないかと既に基本設計が進められているので変更は難しいかと思うが意見として伝える。</p>	<p>具体的な検討はされていなかったため、人員の配置、利用者の動線なども含め検討します。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スキー場リフトについて、第 1 リフト乗場までの坂を何とかして欲しい。食事休憩後に再度利用する際は年寄りには坂がづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スキー場整備は安心・安全に利用いただけるよう、リフト・ゲレンデなど年次計画を作成し整備を進めております。ご意見として参考にさせていただきます。</li> </ul>

[問合せ先]

担当課：経済部営業戦略室営業戦略課  
電 話：01654-3-2111(内線 3341)